

2017 年度（対象年度：2016） 自己点検・評価シート

基準 7	学生支援
------	------

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「A」「B」「C」「D」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目 点検項目（評価の視点）	自己評価 現状 改善	
702	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。 ①学生の修学に関する適切な支援の実施 ・学生の能力に応じた補習、補充教育 ・成績不振の学生の状況把握と指導 ・留年者及び休学者の状況把握と対応 ・退学希望者の状況把握と対応	B	B

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。	
702①学生の修学に関する適切な支援をおこなうため、まずは退学者や単位僅少者の対応方法に関して、各学部宛に調査依頼し確認を行った。[702a] また、各学部からの回答を踏まえ、退学者減少に向けた全学的な取り組みについて、第10回教務会議（2017年1月13日開催）において審議した。その結果、初年次からの単位僅少者指導の全学的な取り組みの検討については、各学部の主体性に任せることとし、単位僅少者指導に資する情報項目の精査、収集及び共有については引き続き検討することとなった。[702b]	
長所・特色《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項《箇条書き》 *伸長すべき点、改善すべき点	
702	各学部での退学者や単位僅少者に対する指導
項目 No.	

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
702①退学者や単位僅少者の対応方法に関して、各学部宛に調査依頼し確認を行った。[702a] また、各学部からの回答を踏まえ、退学者減少に向けた全学的な取り組みについて、第10回教務会議（2017年1月13日開催）において審議した。その結果、初年次からの単位僅少者指導の全学的な取り組みの検討については、各学部の主体性に任せることとし、単位僅少者指導に資する情報項目の精査、収集及び共有については引き続き検討することとなった。[702b]	

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
702①	単位僅少者指導に資する情報項目の精査、収集及び共有について引き続き検討する

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
702	a	学部における退学者及び単位僅少者の対応方法に関する調査について（依頼）
702	b	退学者減少に向けた全学的な取り組みについて（提案）
702	c	各学部における単位僅少者指導状況と基準
702	d	2016 年度 学部における退学者及び単位僅少者の対応方法に関する調査結果（各学部回答一覧）
702	e	【参考】退学者数の推移（在籍者数に占める退学者数の割合）
702	f	【参考】2012 年度入学生の退学者数と退学率
702	g	2016 年度 第 10 回教務会議 議事録（抜粋）

II. 評価結果

総評
702①学生の修学に関する適切な支援をおこなうことを目的に、退学者や単位僅少者の対応方法に関して、各学部宛に調査依頼し確認を行い、その結果をもとに教務会議において全学的な取り組みについて審議されたことは評価できる。今後は、単位僅少者指導に資する情報項目の精査、収集及び共有について引き続き検討を進めて頂きたい。
長所・特色《箇条書き》
・学生の修学に関する適切な支援をおこなうことを目的に、退学者や単位僅少者の対応方法に関して、各学部宛に調査依頼し確認を行い、その結果をもとに教務会議において全学的な取り組みについて審議されたことは評価できる。
課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
・単位僅少者指導に資する情報項目の精査、収集及び共有について、引き続き検討を進めて頂きたい。【留意点】